

# 歌を使った日本語教育 —「オノマトペの歌」について—

溝口 博幸 \*

## Japanese Language Education Using Music “The Song of Onomatopoeia”

MIZOKUCHI Hiroyuki

Learning Japanese onomatopoeia is very important for communication in the Japanese language. If learners of the Japanese language have not studied Japanese onomatopoeia, they cannot imagine what those utterances mean, thus understanding sentence meaning is also difficult. Japanese onomatopoeia expresses voices, sounds, situations, feeling, and so on.

“The Song of Onomatopoeia (Onomatopoe no uta)” was made in 2019 for learning Japanese onomatopoeia effectively and delightfully. This song consists of two verses. The first verse contains bleats of animals and human voices and other sounds. Examples are sounds such as “wan-wan (bark of dogs)”, “kyâ-kyâ (human voice)”, and “byû-byû (sound of wind)”. The second verse depicts situations. Sounds here illustrate physical conditions and feelings, such as “niko-niko (smile / with a smile)”, “gan-gan (have a splitting headache)”, and “waku-waku (be excited)”.

The number of Japanese onomatopoeia is very large. If learners of the Japanese language acquire Japanese onomatopoeia, their speech will become rich with many new expressions. The Song of Onomatopoeia enables learners to understand what Japanese onomatopoeia is and helps them to remember typical sounds by singing the song. This is an effective means of learning Japanese.

*Keywords: onomatopoe (onomatopoeia), proverbs, adjectives, presence, culture*

### 1. はじめに

「どうなさいました?」「痛くなりました。」「チクチク痛みますか? ズキズキですか?」「ズキズキです。」これは、筆者の眼科での看護師との会話である。「チクチク」と「ズキズキ」の意味の違いを日本語学習者は理解できるだろうか。理解していなければ大変困ることになる。参考のために看護師さんに尋ねてみた。「チクチクとズキズキは原因が違うんですか? 対処法は違うんですか?」答えは、「チクチクは術後の傷口が痛むことが多くて、ズキズキは奥の方でしょうか。傷口のチクチクの痛みは直接は対処できないんですが、ズキズキの痛みは鎮痛薬を飲めば少しは楽になると思いますよ。」という返答だった。血圧検査でも、「血圧が低いですね。体がフワフワしませんか?」と聞かれた。これもオノマトペを含んだ表現である。症状の表現以外にも日本語の表現には、非常に多くのオノマトペが使われている。

本稿は、2019年に日本語学習者のために作成した教材である「オノマトペの歌」の構成の説明を行ないながら、日本語のオノマトペの特徴について考察していく。

### 2. 日本語のオノマトペについて

オノマトペは、擬声語・擬音語や擬態語をまとめた言い方であり、動物の鳴き声、人の声、物の音、何かの様子や心情を表現するときなどに使われる。

日本語には大変多くのオノマトペが使われている。『擬音語・擬態語 4500 日本語オノマトペ辞典 (第5版)』(小野正弘 2018)には、4500語が収録されている。

日本語のオノマトペは、「毎日ほうきを持ち出してはそれにまたがり、びよんびよん跳んでいる。」(1998 あわやのぶこ)のように使われるが、オノマトペが使えないとすればどのような表現になるのかと考えてみるとその違いが分かりやすくなる。『日本語オノマトペ辞典』に、「びよんびよん」は「繰り返し身軽に飛び上がったり、飛び越えたりするさま」とある。上述の文を「毎日ほうきを持ち出してはそれにまたがり、繰り返し身軽に飛び上がって跳んでいる。」と言い換えることはできる。しかし、この「びよんびよん」の持っている生き生きとした目に見えるような感じ(ニュアンス)が欠けてしまったような気がする。オノマトペを使ったほうがよりフレッシュで、躍動感というか臨場感が感じられるのではないだろうか。

日本語にオノマトペが多い理由として、英語との比較において、次のようなこともその要因の一つと考えられるだ

\* 近畿大学工業高等専門学校

総合システム工学科(共通教育)教授

ろう。和英辞典（三省堂 デイリーコンサイス英和和英辞典）で「見る」を探してみる。そこには、「見る ①[目で] see; look ((at)); glance ((at)) (ちらりと見る); gaze ((at)) (じっと見る)、②[観察] observe; watch: inspect (視察)」とある。この英語 glance ((at)) (ちらりと見る); gaze ((at)) (じっと見る)の例は、副詞の機能を持つオノマトペを使わなくても表せるが、日本語の場合は「ちらりと見る」「じっと見る」のように、動詞は「見る」で同じだが、異なるオノマトペによって「見方の違い」を表している。

オノマトペは、外国語にもあるが、聞こえ方や表現が異なるといったその国の文化を表しているとも言える。例えば、英語で「bow wow」(犬の声)・「meow」(猫の声)である。

また、時代によっても変化しているものがある。例えば、万葉集が書かれた時代のオノマトペに、馬の鳴き声「イン」というものがあり、江戸時代まで使われていたようである。現代では「ヒヒーン」と表すことが多いが、これは当時の日本語には[h]音がなかったため、当時の人はそのように聞こえたのだと考えられる。近年、電子レンジが登場してから、電子レンジを使って温めたり料理したりすることを「チンする」と言うようになったが、これもオノマトペと言えるだろうか。

オノマトペは、たとえそれが世間で通用していなくても、日常生活の中で話者個人が感じたニュアンスで作り出し使うこともできるのではないだろうか。筆者の母が、「肉をジュラジュラ炒めようか？」と発話した例がある。辞典に載っていないが、炒める内容がよくわかる表現だと感じられた。ある意味、オノマトペは簡単に作り出すことができると言えるのではないだろうか。

オノマトペを声にすることで、行なおうとする内容を高められるということもオノマトペの効果の一つとして挙げられる。『「逆上がり」だってできる！魔法のことはオノマトペ』(藤野 2017)で、できなかった逆上がりをできるようにするために、「ギュッ、ピタッ、クルン」と声に出しながら体を動かすとできるようになると提言している。この掛け声の代わりに、「かなり強く力を入れて搾り上げ、隙間なく密着して、はずみをつけて回る」と言いながら行なっても思い通り体が動かないような気がする。オノマトペの言葉を発するからこそ効果があると言えそう。

こうしてみると、オノマトペには豊かな言語表現ができることや身体運動の手助けをするという効果があるということが言える。

### 3. 「オノマトペの歌」について

#### 3. 1 概要

「オノマトペの歌」は、日本語の中で多く使われているオノマトペがどんなものであるのか、どのように使われているのか、効率よく楽しく学んでもらおうという意図で作

成した。他の「日本語教育のための音楽教材」と同様に、歌詞は限られた長さであり、日本語学習のすべてをカバーすることはできないので、ここにある歌詞を代表的な例として、他の例も提示していくと思われる。

この「オノマトペの歌」は、①歌の音声、②カラオケの音声、③歌詞とクイズのシート、④パワーポイント(歌詞・クイズ)、⑤楽譜を合わせたものを一つのセットにしている。本稿でも教材の内容がそのまま使用できるよう、次のように歌詞、クイズ、楽譜を APPENDIX として後方に提示する。

APPENDIX-1 → 歌詞(日本式ローマ字付き)

APPENDIX-2 → 歌のクイズ(穴埋め問題)

APPENDIX-3 → 楽譜(歌詞付き)

#### 3. 2 「オノマトペの歌」の歌詞について

「オノマトペの歌」は、日本語教育・学習のために作成した音楽教材なので、効率よく使ってもらうために、ここで歌詞の構成内容について説明をしていく。歌詞には、1番と2番がある。1番は、歌詞の中にもあるように、動物の鳴き声や人の声や物の音である擬声語・擬音語について言及している。2番は、何かの様子や心の中を表す表現としての擬態語のオノマトペを選び作成した。

次に、歌詞の1番と2番を示し構成内容を見ていく。

##### ◇♪ 歌詞1番

「擬声語・擬音語」

Q: オノマトペ、オノマトペ、オノマトペってなんですか？

(“Onomatope” “Onomatope” “Onomatope” te nandesu ka?)

A: どうぶつのなきごえや ひとのこえや もののおと。

(Dôbutu no nakigoe ya hito no koe ya mono no oto.)

- ① イヌが ワンワン ほえている。  
(Inu ga wan-wan hoeteiru.)
- ② ネコが ニャーニャー ないている。  
(Neko ga nyâ-nyâ naiteiru.)
- ③ カラスが カーカー ないている。  
(Karasu ga kâ-kâ naiteiru.)
- ④ カエルが ケロケロ ないている。  
(Kaeru ga kero-kero naiteiru.)
- ⑤ ひとが キヤーキヤー いている。  
(Hito ga kyâ-kyâ itteiru.)
- ⑥ ひとが ガヤガヤ はなしている。  
(Hito ga gaya-gaya hanasiteiru.)
- ⑦ おなかが グーグー なっている。  
(Onaka ga gû-gû natteiru.)
- ⑧ のどを ゴクゴク ならしている。  
(Nodo o goku-goku narasiteiru.)

- ⑨ かぜが ビュービュー ふいている。  
(Kaze ga byû-byû huiteiru.)
- ⑩ あめが ザーザー ふっている。  
(Ame ga zâ-zâ hutteiru.)
- ⑪ ふみきりが カンカン なっている。  
(Humikiri ga kan-kan natteiru.)
- ⑫ ドアを コンコン たたいている。  
(Doa o kon-kon tataiteiru.)

1 番の歌詞は、擬声語・擬音語のオノマトペを含んだものである。①～④は動物の鳴き声で、外国語ではこれらと異なった音で表しているものもある。①は「ワンワン」という犬の鳴き声である。犬が吠えている声が日本語ではこのように聞こえ、その声に似せて表現している。②のオノマトペの「ニャーニャー」という猫の声も動物の声を真似て表現したものである。同じく、③はカラスの鳴き声「カーカー」、④はカエルの鳴き声「ケロケロ」である。

⑤⑥は人の声であるが、何を話しているかの具体的な発話の内容ではない。人の声であるがまるで音としてとらえ、実際には「キヤーキヤー」「ギャギャ」という言葉を発しているのではない。また話している様子も含んだ表現となっている。⑤の「キヤーキヤー」は楽しくあるいは騒きながら話している様子を、⑥の「ギャギャ」は複数の人が一斉にはなして少しばかりのうるささを含んでいる。

⑦⑧は声ではなく音である。お腹が「グーグー」鳴っているの、空腹なのかあるいはお腹の調子が悪くて音がしていることを表している。⑧は「ゴクゴク」と音を立てながら飲み物を飲んでいる様子を表している。

⑨～⑫は物の音である。⑨の「ビュービュー」は激しく吹いている風の音、⑩の「ザーザー」は雨の音、⑪の「カンカン」は踏切が鳴っている音、⑫の「コンコン」は手でドアをたたいている音である。歌詞の⑤～⑫の中には音を表しているだけでなく、同時に様子も表しているものもある。例えば、「かぜがビュービュー吹いている」は、防音設備のしっかりしている部屋の窓から、風で木の枝が激しく揺れている様子が見えたとき、音はあまり聞こえなくても、その様子を「ビュービュー吹いている」と表現できる。「擬声語・擬音語」とこの後の歌詞 2 番にある「擬態語」に分けているが、はっきりとした境目がないオノマトペだと言える。「オノマトペの歌」では、音声を含んだものは 1 番の歌詞に入れた。

歌詞の①～⑫のオノマトペの、例えば「ケロケロ」「ギャギャ」「ザーザー」は、どのようにカエルが「なっている」のか、どのように人が「はなしている」のか、どのように雨が「ふっている」のかを説明している「副詞」として機能している。①から⑫のオノマトペの語形は、「ケロケロ」「ギャギャ」「ザーザー」と繰り返しになっている。このように同じ音を重ねた「畳語」の形になっているオノ

マトペは多い。『日本語オノマトペ辞典』では、「音や動作・状況が継続したり繰り返したりしているということ」を表現するものようです。」と説明している。また、このオノマトペに「と」を加えた「ケロケロとなっている」「ギャギャとはなしている」「ザーザーとふっている」のようにも言うことができる。

## ◆♪ 歌詞 2 番

「擬態語」

Q:オノマトペ、オノマトペ、オノマトペってなんですか?  
("Onomatope" "Onomatope" "Onomatope" tte nandesu ka?)

A:なにかの ようすを あらわします。

(Nanika no yôsu o arawasimasu.)

こころの なかを あらわします。

(Kokoro no naka o arawasimasu.)

⑬ この ふくは ブカブカ です。

(Kono huku wa buka-buka desu.)

⑭ この くつは ピツタリ です。

(Kono kutsu wa pittari desu.)

⑮ こどもが ニコニコ わらっている。

(Kodomo ga niko-niko waratteiru.)

⑯ こどもが スヤスヤ ねむっている。

(Kodomo ga suya-suya nemutteiru.)

⑰ あたまが ガンガン している。

(Atama ga gan-gan siteiru.)

⑱ せなか ゾクゾク している。

(Senaka ga zoku-zoku siteiru.)

⑲ むねが ムカムカ している。

(Mune ga muka-muka siteiru.)

⑳ からだが フラフラ している。

(Karada ga hura-hura siteiru.)

㉑ こころが ワクワク している。

(Kokoro ga waku-waku siteiru.)

㉒ こころが ガツカリ きている。

(Kokoro ga gakkari kiteiru.)

㉓ きもちが イライラ している。

(Kimoti ga ira-ira siteiru.)

㉔ きもちが スッキリ している。

(Kimoti ga sukkiri siteiru.)

2 番の歌詞にあるオノマトペは、「擬態語」と呼ばれるもので、⑬～⑳は形態の内容、物事の様子、病気などの症状、心の中で感じていることを表現している。

歌詞の⑬⑭の「このふくは**ブカブカ**です。」「このくつは**ピツタリ**です。」のオノマトペは、「ふく」や「くつ」という名詞の内容がどんなものであるか説明するもので「な形

容詞」として使われている。「これは**ブカブカ**な服です。」  
「これは**ピツリ**な靴です。」とすることができる。また、  
「この着ぐるみは、**ブカブカ**させたまま着ないと暑苦しい  
ですよ。」とか、「ここは危険地帯ですので、私に**ピツリ**  
くっついて歩いてくださいね。」などと、**どのように**「着  
る」のか、**どのように**「くっつく」のかを説明する「副詞」  
としても使える。

歌詞の⑮～⑳、後にある動詞「わらっている」「ねむ  
っている」「している」「きている」がどのように行なわれ  
ているかを説明した「副詞」だと言える。ただし、⑰～㉑  
の「している」「きている」は、何かの動作を行なってい  
ることを説明しているというよりも、それぞれの状態を表  
している意味合いが強い。これらのオノマトペに「する」  
や「くる」を加えた「**ガンガン**する」「**ワクワク**する」「**ガ  
ツカリ**くる」などを、それぞれ一単語の動詞と考えること  
もできる。

歌詞⑬以降をもう少し詳しく見ていこう。⑬⑭はそれぞ  
れ「ふく」「くつ」のサイズについて、それらを装着する  
人にとってどうなのかを説明しているオノマトペが使わ  
れている。

歌詞⑮⑯は、子どもがどのように笑っているのか、どの  
ように眠っているのかをオノマトペが説明している。

歌詞⑰⑱⑲⑳に使われているオノマトペは、「頭痛」「寒  
け」「吐きけ」「体の揺れ」など体調を説明するものである。  
他にも、「ズキズキ」「シクシク」「チクチク」「キリキリ」  
などオノマトペが病気などの症状を説明することにも多  
く使われているので、日本語学習者は学習習得が必要だと思  
われる。

歌詞㉑㉒㉓㉔は、心の中の気持ちや傍から見て当事者が  
そのように感じているだろうと話者が察せられる内容を  
表現している。㉔の「スッキリ」は、心情を表すだけでなく、  
「このユニフォームは**スッキリ**しているね。」「今日は  
天気が**スッキリ**しないね。」などと外見の様子も表せる。

#### 4. おわりに

日本語教育のための音楽教材である「オノマトペの歌」  
には、日本語のオノマトペの代表的なものを取り上げ歌詞  
に織り込んだ。24のオノマトペが入っているが、日本語  
には、状態、動きの様子、病気などの症状、気持ち、音声  
を表すためにオノマトペが多く使われており、知っていな  
ければコミュニケーションが取れず困ることが出てくる  
だろう。外国語にもオノマトペはあるが、日本語独特の考  
え方や文化もあり、語形や表現方法が異なっているものも  
多い。

「オノマトペの歌」は楽しく効率よく日本語のオノマト  
ペの学習習得をするために作成しており、それらのきっか  
けとして活用していただけたら幸いである。

#### 参考文献

- 1) あわやのぶこ(1998)、『空飛ぶ魔法のほうき』『98  
年版ベストエッセイ集』(新編現代文B改訂版<教科  
書>p128 記載より、2019年発行)、大修館書店
- 2) 小野正弘(2015)、『感じる言葉 オノマトペ』、株式会  
社 KADOKAWA  
\_\_\_\_\_ (2018)、『擬音語・擬態語 4500 日本語オノ  
マトペ辞典』第5刷、小学館  
\_\_\_\_\_ (2018)、『くらべてわかるオノマトペ』、東洋  
館出版社
- 3) 清ルミ (2018)、『日本人がよく使う 日本語会話 オノ  
マトペ基本表現 180』、Jリサーチ出版
- 4) はせみつこ(2014)、『ミッチーのことばあそび ひらひ  
ら きらり 新版 オノマトペ 英語の世界』、富山房イ  
ンターナショナル
- 5) 飛田良文・浅田秀子(2018)、『現代擬音語擬態語用法  
辞典』再販、東京堂出版
- 6) 藤野良孝(2017)、『「逆上がり」だってできる! 魔法  
のことばオノマトペ』、青春出版社
- 7) 水野良太郎(2018)、『オノマトペペラペラ マンガで日本  
語の擬音語・擬態語 ONOMATO-PERA-PERA  
An Illustrated Guide to Japanese Onomatopoeia』7版、東  
京堂出版
- 8) 山口仲美(2016)、『擬音語・擬態語辞典』、講談社
- 9) 三省堂編集所(1981)、『デイリーコンサイス英和和英  
辞典』(第7刷発行)、三省堂

#### 謝辞

今回取り上げた「オノマトペの歌」は、「日本語教育の  
ための音楽教材」として作成したものの一つで、16番目  
となる。「日本語教育のための音楽教材」の開発開始の2004  
年からずっと、当時立命館アジア太平洋大学の講師時代の  
同僚であった Darby STANDS 氏(ミュージシャンであり  
現在立命館大学講師)の協力を得て行なっているものであ  
る。曲のアレンジやミキシング、マスターCD作成などの  
作業の協力があり、教材作成がスムーズに実施できている。  
また、近畿大学工業高等専門学校より別枠研究費として助  
成していただいている。両者に感謝申し上げる。

うた  
オノマトペの歌  
*The Song of Onomatopoeia*

1 擬声語・擬音語

オノマトペ オノマトペ オノマトペ って なんですか？  
 “Onomatope” “Onomatope” “Onomatope” tte nandesu ka ?

どうぶつ の なきごえ や ひと の こえ や もの の おと。  
 Dôbutu no nakigoe ya hito no koe ya mono no oto.

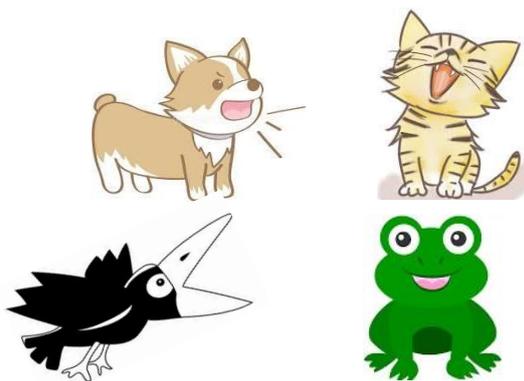
(動物の鳴き声 bleat of animals)

イヌ が ワンワン ほえている。  
 Inu ga wan-wan hoeteiru.

ネコ が ニャーニャー ないている。  
 Neko ga nyâ -nyâ naiteiru.

カラス が カーカー ないている。  
 Karasu ga kâ -kâ naiteiru.

カエル が ケロ ケロ ないている。  
 Kaeru ga kero-kero naiteiru.



(人の声・音 human voice and sound )

ひと が キャーキャー いる。  
 Hito ga kyâ -kyâ itteiru.

ひと が ガヤ ガヤ はなしている。  
 Hito ga gaya- gaya hanasiteiru.

おなか が グーグー なっている。  
 Onaka ga gû - gû natteiru.

のど を ゴク ゴク ならしている。  
 Nodo o goku- goku narasiteiru.



(音 sound)

かぜ が ビュービュー ふいている。  
 Kaze ga byû - byû huiteiru.

あめ が ザーザー ふっている。  
 Ame ga zâ - zâ hutteiru.

ふみきり が カンカン なっている。  
 Humikiri ga kan-kan natteiru.

ドア を コンコン たたいている。  
 Doa o kon-kon tataiteiru.



2 擬態語

オノマトペ オノマトペ オノマトペ って なんですか？  
 “Onomatope” “Onomatope” “Onomatope” tte nandesu ka ?

なにかのようすをあらわします。 ころのなかをあらわします。  
 Nanika no yōsu o arawasimasu. Kokoro no naka o arawasisu.

(状態・動きの様子 situation / state of movement)

この ふくは **ブカブカ** です。  
 Kono huku wa **buka-buka** desu.



この くつは **ピッタリ** です。  
 Kono kutu wa **pittari** desu.

こどもが **ニコニコ** わらっている。  
 Kodomo ga **niko-niko** waratteiru.



こどもが **スヤスヤ** ねむっている。  
 Kodomo ga **suya-suya** nemutteiru.

(体調 physical condition)

あたまが **ガンガン** している。  
 Atama ga **gan-gan** siteiru.



せなかが **ゾクゾク** している。  
 Senaka ga **zoku-zoku** siteiru.

むねが **ムカムカ** している。  
 Mune ga **muka-muka** siteiru.



からだ **フラフラ** している。  
 Karada ga **hura-hura** siteiru.

(心の中 feeling)

こころが **ワクワク** している。  
 Kokoro ga **waku-waku** siteiru.



こころが **ガッカリ** きている。  
 Kokoro ga **gakkari** kiteiru.

きもちが **イライラ** している。  
 Kimoti ga **ira-ira** siteiru.



きもちが **スッキリ** している。  
 Kimoti ga **sukkiri** siteiru.

うた  
オノマトペの歌  
*The Song of Onomatopoeia*

1 擬声語・擬音語

オノマトペ オノマトペ オノマトペ って なんですか？  
“Onomatope” “Onomatope” “Onomatope” tte nandesu ka ?

どうぶつ の なきごえ や ひつ の こえ や もの の おと。  
Dôbutu no nakigoe ya hito no koe ya mono no oto.

(動物の鳴き声 bleat of animals)

イヌ が ( ) ほえている。  
Inu ga <w > hoeteiru.

ネコ が ( ) ないている。  
Neko ga <n > naiteiru.

カラス が ( ) ないている。  
Karasu ga <k > naiteiru.

カエル が ( ) ないている。  
Kaeru ga <k > naiteiru.



(人の声・音 human voice and sound )

ひと が ( ) いっている。  
Hito ga <k > itteiru.

ひと が ( ) はなしている。  
Hito ga <g > hanasiteiru.

おなか が ( ) なっている。  
Onaka ga <g > natteiru.

のど を ( ) ならしている。  
Nodo o <g > narasiteiru.



(音 sound)

かぜ が ( ) ふいている。  
Kaze ga <b > huiteiru.

あめ が ( ) ふっている。  
Ame ga <z > hutteiru.

ふみきり が ( ) なっている。  
Humikiri ga <k > natteiru.

ドア を ( ) たたいている。  
Doa o <k > tataiteiru.



2 擬態語

オノマトペ オノマトペ オノマトペ って なんですか？  
 “Onomatope” “Onomatope” “Onomatope” tte nandesu ka ?

なにかのようすをあらわします。こころのなかをあらわします。  
 Nanika no yōsu o arawasimasu. Kokoro no naka o arawasisu.

(状態・動きの様子 situation / state of movement)

この ふくは ( ) です。  
 Kono huku wa <b> </b> desu.



この くつは ( ) です。  
 Kono kutsu wa <p> </p> desu.

こどもが ( ) わらっている。  
 Kodomo ga <n> </n> waratteiru.



こどもが ( ) ねむっている。  
 Kodomo ga <s> </s> nemutteiru.

(体調 physical condition)

あたまが ( ) している。  
 Atama ga <g> </g> siteiru.



せなかが ( ) している。  
 Senaka ga <z> </z> siteiru.

おねが ( ) している。  
 Mune ga <m> </m> siteiru.



からだ ( ) している。  
 Karada ga <h> </h> siteiru.

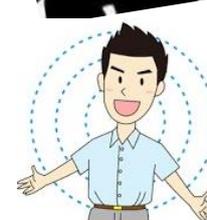
(心の中 feeling)

こころが ( ) している。  
 Kokoro ga <w> </w> siteiru.



こころが ( ) きている。  
 Kokoro ga <g> </g> kiteiru.

きもちが ( ) している。  
 Kimochi ga <i> </i> siteiru.



きもちが ( ) している。  
 Kimochi ga <s> </s> siteiru.

うた  
オノマトペの歌  
The Song of Onomatopoeia

作詞・作曲：Mizo.

♩=130

1 C 2 G 3 C 4 G

5 G 6 G 7 C 8 G

9 C 10 C 11 G 12 G C

13 C 14 C G 15 G 16 G C

17 C 18 C G 19 G 20 G C

21 C 22 C G 23 G 24 G C

オノマトペ オノマトペ オノマトペって なんで すか  
オノマトペ オノマトペ オノマトペって なんで すか

ど う ぶ つ の な き ご え や ひ と の こ え や も の の お と  
な に か の よ う す を あ ら わ し ま す こ こ ろ の な か を あ ら わ し ま す

イ ヌ が ワ ン フ ン ほ え て い る ネ コ が ニ ャ ニ ャ ー な い て い る  
こ の 一 ふ く は ブ カ ブ カ で す こ の 一 く つ は ピ ッ タ リ で す

カ ラ ス が カ ー カ ー な い て い る カ エ ル が ケ ロ ケ ロ な い て い る  
こ ど も が ニ コ ニ コ わ ら っ て い る こ ど も が ス ヤ ス ヤ ね む っ て い る

25 C G G C G

ひー と が キャーキャー い っ て い る      ひー と が ガ ヤガ ヤ は な し て い る  
あ た ま が ガ ン ガ ン し て い る      せ な か が ゴ ク ゴ ク し て い る

29 C G G G C

お な か が ゴーグー な っ て い る      のー ど を ゴ ク ゴ ク な ら し て い る  
おー ね が ム カ ム カ し て い る      か ら た が フ ラ フ ラ し て い る

33 C C G G C

かー ぜ が ビュービュー ふ い て い る      あー め が ザーザー ふ っ て い る  
こ こ ろ が フ クワ ク し て い る      こ こ ろ が ガ ッカ リ き ー て い る

37 C C G G C

ふ み き り が カ ンカ ン な っ て い る      ドー ア を コ ンコ ン た た い て い る  
き も ち が イ ライ ラ し て い る      き も ち が ス ッキ リ し て い る

41 C G G G

45 C G G G

49 C G C

50

©MIZOKUCHI 2019 2  
さくし さっきょく  
 作詞・作曲: Mizo. アレンジ: Darby Stands